

当日の内容（予定）：時間や内容は当日変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

時間	セッション名	登壇者情報
13:00 – 14:00	基調講演 – Microsoft の AI を活用し、Java 開発を強化 この基調講演では、Microsoft が Java 開発でどのように革新を進めているかを紹介いたします。特にマツダ株式会社様の事例を取り上げ、Azure 上で Java をどのように活用しているのか、その動機や実践を通じて得られた利益、そして Java on Azure における課題について詳しくご紹介いたします。さらに、Java 開発者向けの具体的な支援策である「Fast Track for Java」プログラムについても解説します。	Microsoft Corporation Senior Cloud Advocate 寺田 佳央 マツダ株式会社 MDI&IT 本部 主査（先進 IT チーム担当） 吉岡 正博 Microsoft Corporation Principal Customer Engineer 樽澤 広亨
14:00 – 14:30	GitHub Copilot × Visual Studio Code で始める Java アプリ開発 GitHub Copilot は、AI がコーディングのサポートをしてくれるツールです。このセッションでは、GitHub Copilot を AI ペアプログラマーとして活用する方法、スラッシュコマンドやインラインチャットを使ったコードの解説・修正、クイックフィックス、単体テスト作成、リファクタリング、ドキュメント作成のコツ、さらにはチャットエージェントの使い方などについて、デモを交えてご紹介いたします。また、Visual Studio Code 用の Java 拡張機能の最新情報もお伝えします。	日本マイクロソフト株式会社 Cloud Solution Architect 阿佐 志保
14:30 - 15:00	Azure OpenAI client library for Java 活用術 Azure OpenAI は、開発者がモデルからコンテンツをデプロイ、チューニング、生成できる Azure のマネージドサービスです。Azure OpenAI client library for Java を使用することで、生成 AI を活用したアプリケーション開発の効率化が期待できます。このウェビナーでは、Azure OpenAI client library for Java を活用する背景やデモを交え、実際の活用方法を紹介します。また、開発現場での SDK の適切な使用方法についてもお伝えします。	日本マイクロソフト株式会社 Digital Technical Specialist 斎藤 功平
15:00 - 15:30	Java と Semantic Kernel で作る独自 Copilot & 完全自動 AI への第一歩 Semantic Kernel は、Microsoft が開発した オープンソースの SDK です。このツールは Microsoft の様々な Copilot アプリケーションが共有しているオーケストレーション機能をオープンソース化して広く利用可能としたもので Java でも使用することができるようになりました。このセッションでは、Semantic Kernel の基本的な概念、内部構造についてご紹介し、Java での使用例をデモンストレーションします。セッションを通じて開発者の皆様は Semantic Kernel で独自 Copilot や完全自動 AI アプリケーションの作成を始める最初の第一歩をお手伝いします。	日本マイクロソフト株式会社 Digital Technical Specialist 上坂 貴志
15:30 - 16:00	Build LLM-Powered Applications with LangChain4j	日本マイクロソフト株式会社

	<p>Langchain4j は、AI/LLM 機能を Java アプリケーションに簡単に統合できるようにするために開発されたフレームワークです。様々な AI/LLM の独自 API を抽象化して統一した API で開発でき、アプリケーション開発に必要な機能を多数そろえています。また、様々な開発フレームワークから利用されることを想定した統合も進んでいるため、Java で LLM を活用したアプリケーションを実装する上で、有力な選択肢の一つたらしめています。このセッションでは、LangChain4j の概要を説明した上で、主要なユースケースについてデモを交えてご紹介します。</p>	<p>Cloud Solution Architect 西川 彰広</p>
16:00 - 16:30	<p>Spring AI であなたも AI デベロッパー</p> <p>AI アプリケーション開発といえば、Python を学ばないといけないかなと思っている Java デベロッパーの方はいらっしゃいませんか？ 安心してください、Java でシンプルに AI アプリケーション開発ができるんです！ Spring プロジェクトの 1 つとして提供している Spring AI を使えば皆さんの懸念は一瞬にして払拭されますよ。このセッションでは、Spring AI と Azure Open AI を使って今すぐ始められる AI アプリケーション開発をご紹介します。今日からあなたも AI デベロッパーの仲間入りです。</p>	<p>Microsoft Corporation Senior Specialist 柳原 伸弥</p>
16:30 - 17:00	<p>はじめての生成 AI とソフトウェア開発</p> <p>GitHub Copilot が登場し、開発者の仕事はさらに効率的になりました。しかし私たちは生成 AI を効果的に使うことでもっと仕事を楽にすることができるはず。本セッションでは、AI によるコード解析やソフトウェア設計の支援を例に挙げつつ、生成 AI を活用したソフトウェア開発の未来についてその可能性を紐解きます。</p>	<p>日本マイクロソフト株式会社 Technical Specialist 鈴木 祐介</p>
17:00 - 17:30	<p>生成 AI の業務活用：その RAG、本当に効果出てますか？</p> <p>昨今、生成 AI で企業内データを活用するために RAG (Retrieval Augmented Generation、検索拡張生成) が注目されています。</p> <p>しかし実際に RAG を構築してみると、期待する回答が得られないなど活用が難しい点もわかってきました。</p> <p>その RAG、本当に効果出てますか？ ビジネス価値を産んでますか？</p> <p>本パネルセッションでは実践から学んだ「RAG の構築の注意点と成功のコツ」を語り尽くします。生成 AI 関連の業務システム構築に取り組むエンジニアのみなさん、必見です。</p>	<p>ウルシステムズ株式会社 代表取締役会長 漆原 茂氏</p> <p>Microsoft Corporation Senior Cloud Advocate 寺田 佳央</p>
17:30 - 18:00	<p>質疑応答</p>	